

平成30年7月6日

田辺市議会議長 小川浩樹様

会派名 くまのクラブ

代表者名 安達 幸治

出張（研修及び調査研究）報告書

下記のとおり出張（研修及び調査研究）いたしましたので、その結果をご報告いたします。

記

参加議員	安達幸治
期 間	平成30年6月4日 ～ 平成30年6月6日
実施場所 （研修会場、視察先、相手方等）	・東京都 大田市場 ・京都府 下鴨神社・上賀茂神社
活動の目的・内容及び結果等	・和歌山梅フェアー及び青果物の流通実態について ・紀州梅道中行列への参加

報告書は別添のとおり

梅販売促進に係る調査及び視察について

6月6日の「梅の日」にちなんで、梅製品販売促進の為、東京に向かいました。

まず、6月4日、18時35分白浜空港を出発、19時30分に羽田空港着。

翌6月5日の早朝6時より大田市場にて梅フェアに参画。真砂市長、JA紀南本田組合長の挨拶の後、梅の宣伝、普及活動に努めました。

本年も多くの皆さんに試食、試飲を頂き、おおむね好評でした。

※ただ市場での宣伝において、多少マンネリ化しており、以前より取引も少ないようなので、もう少しアイデアが必要と考えます。

市場での宣伝活動の後、別室にて市場の状況を伺いました。果実4部というところで、梅、みかんを扱っており、特に今年の青梅については、古城は量が多い割には単価も安定しており、南高については、2L、3Lサイズの希望が多く、Lは売りづらいとの事でした。

次に東京第4事業部長石倉伸二氏よりお話を伺いました。大田市場には都内で消費する野菜、果実がすべて集まって来ており、果実については50%以上だが、全国的には柑橘類が少なくなっているとのことでした。

現代、加工業務の方にも力を入れており、又新たに果実の輸出も始めたそうです。輸出先は、台湾、香港が8割、殆どがリンゴとの事。

※但し、翌年にも欲しがるとは限らないので、注意する必要があるとも言っておられました。

みかんの位置づけですが、1位愛媛県、2位長野県、3位熊本県、4位静岡県、そして5位が和歌山県で12%との事。みかんの今後の販売促進に関しては、マンネリ化しているので食べさせ方を勉強する必要があります。

又、ハッサクに関しては、和歌山産が一番出荷が多く、4個売りのものを2個売りにして高級感を出して売るのが良いとも言っておられました。

みかんに関しては、今後、長崎、和歌山、静岡、は伸びるが、熊本、愛媛は伸び悩むとの予想をたてられていました。

大田市場での視察の後、その日のうちに京都に向かいました。

6月6日（梅の日）は、まず下鴨神社に向かい、紀州梅道中行列に参加、参拝。その後は、そのまま上賀茂神社に向かい、同じく紀州梅道中行列に参加、そして参拝を行いました。市の関係者、JA紀南の関係者、生産者組合の皆さん、女性部の皆さんなどと共に本年の豊作と高値、そして農業全体の繁栄と皆さんの幸せをお祈りしました。

これですべての予定を終え、15:00頃よりレンタカーにて帰路につき、全員元気で田辺に帰って参りました。

以上報告と致します。